

## 第3回 シンポジウム

# 台湾における福祉政策と介護の実践

## 家族主義・介護保険・外国人労働者

### 趣旨

アジア諸国でも高齢化が社会問題となってきた。台湾では日本よりもさらに少子化が進行しているため、高齢化率はすでに10%を超えているものの、今後ますます加速していくものと思われる。その中で台湾は、急速な人口構成の変化にどのように対応しようとしているのか。アジアの共通課題として高齢化に対応する社会を構築するため、日本はどのような協力ができるのか、台湾の医療・福祉関係者と共に考えたい。

### 日時・場所

日時：2014年12月28日(日) 13時00分～16時30分 (開場:12時45分)

場所：メルパルク京都 4階 第3研修室

(京都駅中央出口すぐ近く・詳しくは裏面の地図をご覧ください)

### 登壇予定者

(敬称略・順不同)

#### ご挨拶

杉原 優子 (一般社団法人 京都府介護福祉士会 会長)

#### 進行

安里 和晃 (京都大学大学院 文学研究科 教員)

#### 報告

林 彤恩 (台北市私立常喜特別養護老人ホーム 責任者)

王 寶琇 (新北市私立沐心特別養護老人ホーム 責任者)

李 月卿 (馬偕医療看護管理専門学校 看護科講師)

吳 佳穎 (台北市私立慧光特別養護老人ホーム 看護師)

戴 慧 (財団法人健順特別養護老人ホーム 看護主任)

#### コメント

山崎 イチ子 (元花園大学 教授)

大崎 千秋 (名古屋柳城短期大学 教員)



台湾で介護に従事するインドネシア人労働者